

第2回久米南町庁舎改修整備検討委員会 会議録

■日時 平成30年12月7日(金) 午前10:00～12:00

■場所 久米南町役場 3階会議室

■次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 副委員長等互選
- 4 前回の議事概要について(確認)
- 5 議題
 - (1) 庁舎の整備方法について
 - (2) 今後の予定について
 - (3) その他
- 6 閉会

■内容

1 開会

- 事務局

2 委員長挨拶

- 委員長:(委員長挨拶)

- ・規定により委員長が議長に就任
- ・事務局:(出席状況報告 9名出席)(配布資料確認)

3 副委員長等互選

- 事務局:副委員長互選について。規定により互選。
- 議長:副委員長を互選するが、事務局案があるか。
- 事務局:(事務局案)
- 委員:(異議なし)

4 前回の議事概要について(確認)

- 事務局:(前回の議事概要について説明)
- 議長:流れを報告いただいたが、不明な点、意見がありますか。
- 委員:(意見なし)

5 議題

(1) 庁舎の整備方法について

- 事務局：(A案(耐震改修+大規模改修)について説明)
- 議長：仮設庁舎を考えずにいながらの補強工事は難しいとのことであったが、県民局はどうだったか。
- 事務局：県庁の場合は、仮設庁舎等はないとお聞きしている。この庁舎の場合は、二階入り口部分と事務所に入る扉の部分等に補強が要る。耐震診断を平成17年度に行ったが、そちらの業者に確認したところ、安全性からも、いながらの工事というのは難しく、選択肢の中には入りにくいとのことでした。また、耐震補強工事だけでなく、現在の庁舎については、空調設備がほぼ限界に近付いているということもあり、更新等が必要となっている。そちらの工事については、いながらの工事というのは他にも例がないと設計業者から聞いている。
- 議長：せっかくでするので皆さん疑問な点等、積極的にいただきたいと思います。
- 委員：前回の検討委員会については一応建て替えの方向で行くようになっていたと思うが、またこれを最初から改修でいくのか建て替えでいくのかというような話になると、この会自体がどうなのかと思う。それが一番の疑問。先ほども言われたように、この委員会の意見を聞いて、協議をしたというような話があったが、あの時の意見はもう否定されたということか。
- 事務局：私どもの考え方としましては、この委員会を設置し、皆さんから頂いたご意見を基に事業を進めたいと考えております。議会のほうからのご意見等もございましたので、再度今回ご提案はさせていただいたが、先ほど申し上げたように、町としては仮設庁舎をすることなく耐震化を図りたい。これについては議会でも同じような意見がありました。こちらにもありますように仮設庁舎として1億3千万円あげていますが、実際にはこの金額より上回る可能性がある。これについては仮設庁舎のレンタル料というものが1億3千万円で、現在、庁舎で使用している電子機器等の移設、その他諸々の付随した設備を移設ということを見ると、これよりも大きな金額になる可能性もある。先ほど委員からご指摘もありましたように、私どもとしては前回はゼロにするとは考えていないが、議会との関係もございまして、再度ご提案させていただいておりますのでご了承いただきたい。
- 委員：事前にこの資料を送っていただいて、素人なりに考えてみたときに、ひとつは仮設というのは全く無駄だと思った。工事が終わったら返してしまうもののために、1億3千万円かかっては、全く無駄だと思う。それではない方法を検討していくべきではないかと思う。それから、このメリットのところ、目先のというか短期的財政負担というのがでてくるが、説明にもあったように、建物自体が耐震化だけしても、もたないものであれば、そのために今お金をかけてまた何年後に建て替えるというのは、ものすごく無駄だと思う。人口が少なくなっていく中で、今、私たちが考えるのは、少し先をみて私たちの孫の世代になると思うが、先々久米南町がどう発展していくか、残っていくかということを考えてときには、少

し先をみたことを考えていく必要があると思う。

いただいた資料のなかですごく気になったのが、50年後の総費用というところ。これを考えると、今の庁舎を仮設庁舎なしで工事するというの一番安いようだが、結局、耐震だけ安くできたとしても、やがて建て替えることを考えると、B③案が一番良いなと思った。その理由は無駄がないということと、長期的に考えたときに、今12億8千3百万円かかったとしても、長期的に考えたときに34億1千万円と考えたら、そこですでに10億円違う。差引したら、どっちが長期的によいのか。それは今生きている者は50年生きていないかもしれないが、これから私たちの子や孫がどうこの町で生きていくかということを考えたら、やっぱりこっちのほうが良いのかなと思った。メリットとして、財政的な部分で交付税が返ってくるのか、長期的に考えていくとしたら、今のことを考えずに、ちょっと先のことを見ていきたいと思う。それがこの町が発展していくうえでも大事なことじゃないかなと思う。そう思ってB③案を見ていたら、色々デメリットとして、代替施設が必要という部分も出てくるんですけど、例えば公民館が使えないようになったら、文化センターがつかえるなど。公民館は会議とかに使わせてもらっているが、そういう部屋は文化センターの中の小さい部屋が使えるのかなと思った。調理室機能も福祉センターにある調理室機能が使えそう。そういうふうに相互に活用していけば、この1年8か月の間にできるのかなと思った。そういうところを活用しながらいくと、庁舎を移転する必要もなく、ここで執務しながら建て替え工事ができるのじゃないのかなということを思って、一番効率がよいのはこれかなと思った。

- 議 長：貴重なご意見ありがとうございます。ほかに。
- 委 員：先ほど委員も言われたように、1回目の委員会とほぼ同じような内容ですね。
- 議 長：前回の会議では、先になったらまたお金がいるのだから、今財政的に余裕があるのなら、建てたら良いのじゃないかなと、出席の委員さん皆建て替えというふうな意見にはなっていました。
- 委 員：議会の内容も聞かせてもらったりはしていたが、建て替えの方向で、ということも聞いていて、私もそのほうがいいかなと思っていた。ただ、先を見るビジョンが必要になってくると思う。町がどうしたいかという方針をきちんと打ち出して、あと最初の説明が不足していたから、色んな意見が出たのだと思う。中学校の建て替えにしても、今回の建て替え検討にしても、設計費に莫大な金がかかりすぎているのではと感じる。いくつかの業者を活用してプレゼンをすれば、そこまで設計費としてかからないと思う。町民もそれで納得すれば建て替えすればよし、町の職員の意識をここでしっかり変えていかないといけない。今までのような、なあなあ役場の関係であるようであれば、定年までいったら退職金をもらえるみたいなそんな考えでいるのなら、いっそのこと今新しく変えて、意識をしっかり持って自分たちで建て替えたと認識をもっといただき仕事をしていただく。当然国のお金が動いてくると思うので、自分たちが払っていないという

意識はあると思うんですけど、自分たちが住む町、町民の方に来ていただいて相談したりする場だと思うので、良い物を作っていたきたい。町自体はものの考え方がピラミッドで言うと、真ん中あたりから進んでいく。とても良い政策はしていると思うが、一番下の土台の部分から政策をしてほしい。20年前からしっかりそうやって階段を踏んで行ってここに来るのなら良いが、補助金の期限が迫ってきたから一生懸命しているような感じに見えて、前もって準備していれば、みんな建て替えを認めてくれると思うんですけど、今までの姿勢が多分こういうふう表れてきているのかなと思う。

●議 長：ありがとうございます。ほかにありませんか。役場に行きたがらない人も実際います。皆さんがいきやすいような施設にしないでほしい。

それから官公庁の建物といったらどうしても固く感じるんですが、1階はレストランというような施設と併設するようなことをしてみたりというところもあります。中央公民館もかつては社会福祉施設、社会協議拠点施設ということで建てたわけなんですけど、そのあたりと状況は変わってしまっているんで、今は十分に機能していないかなと思う。時代が変わってきとるのでそれは仕方がないが、中央公民館もちょうどオイルショック後の建物で、ちょっと傷みがひどいようなので、これは放っておくわけにはいかないのかなと私も思います。

文化センターはホール利用が少ないということなんですが、これは利用してもらわないいけない。文化施設というのは採算が合うような施設ではないので、とにかくみんなに使ってもらえば良い。しっかりと行政も使うことを考えてもらわないといけない。

●議 長：よろしいですか。B案から。

●事務局：(B案(庁舎等新設)について説明)

●議 長：B案ですが、ご意見等ございますか。

●委 員：デメリットで書かれている中央公民館での繰り上げというのは、どれぐらいで済むのか。するとしたらどれぐらいの負担になるのか。

●事務局：2千万円から3千万円程度を早めに返すという形になります。

●委 員：本町の財政から可能なのですか。

●事務局：急な返済をする場合に使える基金というのがあり、対応できると考えている。

●議 長：工事費はほとんど起債で対応できますか。一般財源は何割。

●事務局：起債対応できると考えている。その他は基金の積立の範疇で対応する。

●議 長：いくら基金がありますか。

●事務局：今4億円程度です。

●議 長：他に何かありますか、B案について。

●委 員：公共施設の保有面積を減らすことができるということは、要するに後の維持費が、大きい建物であれば今後の維持費が非常にかかるけれども、機能を集約して面積が小さくなることによって、今後の維持費も少し良くなるということですね。

●事務局：そうです。補足をさせていただきますと、町で公共施設等総合管理計画という計

画を策定しておりまして、公共施設等の適正管理計画を進めています。全国的に人口減少が叫ばれている中、各自治体において保有している施設が多いく、今後の維持管理費がかかるので、不要な施設等については見直しを考えたかどうかという内容です。庁舎と公民館を一緒に建てるということになると、先ほど説明がありました共有部分が出てきますので、そのあたりで、二つの建物を一緒にしてしまえば、面積的には減る。つまりは先ほど言いましたように維持管理費が将来的に少なくなるの見込まれるということです。

- 議 長：それでは次の説明をしていただきます。
- 事務局：（C案（既存施設活用）について説明）
- 議 長：ありがとうございます。文化センターについては色々と文化協会だとか文化団体の方、図書館については学校関係の皆さん方、色々ご利用されている方が多いわけなので、提案していくのなら、それらの意見もよく聞かないといけないと思います。
- 議 長：A案からC案まで事務局の説明をお聞きしたんですが、皆さん方にも意見を聴いておかないといけません。それで決まりということにはなりません、こういう意見があった、というまとめ方をしていきたいと思う。順次ご意見をいただきたいので、名簿の順番でお願いします。
- 委 員：個人的には建て替えが良いと思う。特に新しいB③案が良いと思う。
- 委 員：金額が高いのかなと思っていたが、今回きてB③案が一番現実的だと思った。20年50年先の人口を考えたときの設計をお願いしたい。
- 委 員：B③案が効率的で現実的であると思う。
- 委 員：建て替えの方向でB③が妥当だと考える。最初の時点で建て替え10億円か12億円か、改修5億円で考えたら耐震がいいかと思っていたが、交付税措置等を考えたらB③案が妥当と考える。
- 委 員：B③案が一番メリット大きいと思う。
- 委 員：B③案が妥当だと思う。ぱっと見比べると良いようにも見えるが、C案は現実的ではない。文化センターの活用をしっかりと考えて使うほうが良いのではないかな。せっかくいい施設なので町民に利用してもらおう努力をしたほうがいい。
- 委 員：B③案に賛成する。前回庁舎本体のみの話で、今回公民館との複合型案が出て、今後20年50年先の人口増は見込めないなので、公共施設を減らしていく方向に向けて、十分考慮して進めていただきたい。
- 委 員：空調、電気設備等やり替えにしても無駄が多いと思うので、B③案が良いと思う。公民館が共用化され、中に商業施設があったり、久米南の中心機能を備えた設備ができれば、より人が集まり、機能を足した庁舎になるのでは。
- 議 長：前回は建て替えの方向で委員の意見もブレていない。限られた土地で、財政も厳しいので、工夫をして効率のいい庁舎を建設していただきたい。

（2）今後の予定について

- 議 長：今後の予定ということで事務局お願いします。

●事務局：(今後の予定について説明)

●議長：町民のかたも色々な方がおられるので、幅広い意見を集約してください。よろしくをお願いします。

(3) その他

●議長：ほかにありませんか。

●委員：起債の期限が平成32年度と書かれているが、32年度までに着工するのか。それとも事業を決定するのか。

●事務局：今回、庁舎整備で活用する起債は平成32年度までに完成ということが今のところ条件というふうには聞いている。熊本の地震で、庁舎の耐震をしていたにもかかわらず、役場機能、市役所機能が使えなくなった、そういうことから、国が平成29年度から制度を設けた。本町としては平成32年度を目標にとりあえずは考えてはいきたい。ただ、平成32年度ありきという形でいい加減なものを作りたくはないので、皆さんのご意見、お声を聴きながら、反映したより良いものというふうには考えている。また色々な形で財政的なことも検討していきたいと考えている。

●議長：ありがとうございます。ほかにありませんか。

●委員：平成32年度に完成は今の段階では難しいのでは。もらえない案で考えるべきではないですか。それか延ばしてもらうか。

●事務局：国が考える制度なものですから、要望はさせていただきますが、それがすんなり受け入れられるかというのは考えにくい。先ほど申し上げたように、色々なお声を聴いてやりたいと考えておりますので、乱暴なようなことはやりたくないと考えている。色々な建築方法であるとかその他諸々の入札方法、先ほど委員さんのほうからありましたようなご意見等も考慮しながら、手順を踏んで進めていきたいと思っています。

●委員：熊本地震もそうですし、この7月にありました西日本豪雨を考えると、こういう公共施設は特に自治体の心臓部だと思う。そういうところが機能しなくなったときには、被害も非常に大きくなって、町民の生命に大きく関わってくると思う。先ほどどなたかの委員さんの意見にもあったが、こういうことは広く意見を聴くことはとても大事なことはあるが、町として強い意志を持って、これは本当に目先のことでなく、何かあった時に一番に砦がつぶれてしまわないように、やはり大事なことだと思うので、町がリーダーシップを取りながら進めていただきたいと思う。よろしくお願いします。

●議長：ありがとうございます。ほかにご意見等ございませんか。無いようでしたら、本日の会議を終わりたいと思います。色々皆さん慎重審議していただきましてありがとうございます。また次回会議はご案内させていただきますので、その節にはよろしくお願ひしたいと思います。今日は大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。